



♪ ドリカム ♪

主幹教諭 阪上 智美

令和最初の大運動会も目の前。子どもたちは毎日精一杯の力で練習に励んでいます。日を追うごとに成長をしています。当日が本当に楽しみです。これも、ご家庭で子どもたちを支え、見守り、励ましがあるからこそです。本当にありがとうございます。

さあ、来年は東京 2020 オリンピック・パラリンピック。子どもたちの期待と夢も膨らんできています。

夢と言えば…

うちの娘、中学 3 年生、今年は受験生です。この夏、一緒に高校見学へ行きました。楽しいですね。夢に満ち溢れていました。見学先で案内してくれる高校生も、案内される中学生もキラキラした目をしていました。私もあの頃に戻れるのなら、もっともっと勉強したのにな…(ため息) と思った夏でした。

そんな夏、私の尊敬してやまない大好きな先生のことを思い出しました。中学 2 年生の時の担任の S 先生。女性の数学の先生です。

当時、毎日、日記を書くことになっていました。S 先生は毎日毎日「あなたの文章は面白いね。今日も笑ったわ。」と言ってくれるのです。「クラスみんなでキャンプをしたい。」と言えば「よし、やろう!」と私たちの背中を押して、実施のために駆け回ってくれました。休日になると、ボランティア活動に連れ出してくれました。もちろん悪いことをした時には、びしっと叱ってくれます。何度も叱られました。一度は、謝っても謝っても許してもらえず、校内の掃除を自主的に言い、やっと許してもらったこともありました。忘れられないのはホームルームの時間。

「みんなは、これから自分になりたいものになれるんだよ。自分の力でなることができるんだよ。」

と話してくれたことです。自分の将来のことや、夢についてたくさん考えました。大学へ進学する時には、S 先生にも相談しました。その時こんなことを言ってくれました。「そういえば、先生になりたいって言っていたね。夢がかなえられるんじゃない?」昔のことを憶えていてくれて、アドバイスしてくれました。私が教員になり再会した時には「楽しそうな顔をしているね。先生が楽しそうじゃないと子どもは学校を楽しいと思えないよ。」と話し、本当に喜んでくれました。

私が、先生という仕事を本気で目指そうと思ったきっかけになった S 先生。数年前に亡くなってしまいましたが、今でも忘れることはありません。S 先生のような先生になるのが、今の私の夢なのです。

子どもたちは、今、どんな夢をもっているのでしょうか? どんなことでも夢をもつことは、今日から明日へ一歩踏み出す力になります。まだ、よく分からないという人も多いと思います。そんな人には、「今しかできないことを一生懸命やってみて。」と伝えたいです。外でたくさん遊ぶ、本をたくさん読む、お手伝いをする、友達をたくさん作る…毎日の全部が自分の力になります。なりたい自分になるための力を、今、たくさん蓄えておいてほしいのです。